

朝になつて、気がつくとな、雨も降んねえのに、いつのまにか田んぼに水が入つてな、稲は青々と元気をとりもどしていたんだど。

次の晩も、また、次の晩

もな、同じことが続いたん

だど。

不思議に思つてな、見張

りの者、五、六人が眠んね

えで、待ち構えていたんだ

ど。

真夜中のころ、田んぼで

「ぎーっぎーっ」と水の音が

聞こえてきたんだど。

